

〈本時の言語活動を通して付けたい力〉	
楽曲を聴き、主題の反復や変化によって感じたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりする力	
手 立 て	<ul style="list-style-type: none"> ・「演奏会のパンフレットづくり」を設定し、感じたことを表現する意欲をもたせる。 ・曲の感想を書いた付箋を話し合いの中で分類することで、グループとしてのコメントを練り上げさせる。

1 題材名 音楽に思いをこめて

2 目標

- 曲に込められた思いを感じ取って表現したり聴いたりする学習に主体的に取り組む。
(音楽への関心・意欲・態度)
- 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、言葉の意味や歌詞の内容を理解したりして、それらを生かした歌唱表現を工夫し、どのように歌うかについての思いや意図をもつ。
(音楽表現の創意工夫)
- 歌詞の内容や構成にふさわしい表現の仕方でもったり、自然で無理のない響きのある歌い方で歌ったりする。
(音楽表現の技能)
- 音楽を形づくっている反復、変化などの要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、曲想の変化、さらに、曲に込められた作曲者の思いを感じ取る。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

この題材は、小学校学習指導要領A表現(1)イ「歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと」と、B鑑賞(1)のア「曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと」、ウ「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること」にかかわるものである。ここでは、まず、歌唱共通教材である「ふるさと」を扱い、これまで長年、広く歌い継がれてきた我が国の唱歌のもつよさを感じ取り、楽曲に込められた作者の思いや意図を感じ取って表現する。さらに同じように祖国を離れ、祖国を思いながら作曲したドボルザークの「交響曲第9番 新世界より 第4楽章」を鑑賞し、音楽を形づくっている要素、特に、主題の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、曲想の変化、さらに、曲に込められた作曲者の思いを感じ取って聴く。また、第2楽章の主題の再現を取り上げることで、曲に込められた作曲者の思いを感じ取り、自分たちもまた、気持ちを込めて表現する喜びを味わうことをねらいとしている。

(2) 児童観

本学級の児童は、1学期には「運命」の鑑賞を行った。演奏会のポスターを作る活動を通して、演奏者による曲調の違いを聴く学習をした。付箋に書いた感想を基にグループ内で曲のイメージを共有し合い、1つの言葉にまとめていく活動を通して、感じ方の幅を広げ、楽曲に集中して聴くことができた。

本題材の指導にあたり、実施した調査結果は以下のようである。

【実態調査】 (6年1組 28人 平成27年9月2日実施)

①「運命」の学習ではどんなことが楽しかったですか。				
・ポスターやチラシ作り	…10人	・聴いているのが楽しい	…7人	
・いいと感じたことを書く	…6人	・感じたことを説明できたこと	…2人	
・いろいろな演奏が聴けた	…2人	・テンポの変化に興味をわいた	…1人	
②交響曲第9番「新世界より」第4楽章を聴く この曲を知っていますか。				
	・聴いたことがある	…23人	・知らない	…5人
③交響曲第9番「新世界より」第2楽章を聴く この曲を知っていますか。				
	・聴いたことがある	…24人	・知らない	…4人
④歌うときどんなことに気をつけていますか				
・口を大きく開ける	…11人	・大きな声で歌う	…7人	
・おなかから声を出す	…7人	・音程に気をつける	…6人	
・きれいな声	…5人	・楽しく歌う	…4人	
・強弱に気をつける	…1人	・歌詞の意味を考える	…1人	

この結果から、1学期始めには鑑賞の学習にほとんど興味がなかったり、聴いた曲の曲名を覚えていなかったりした児童が、コンサートのチラシ作りやポスター作りといった活動に興味をもって取り組み、鑑賞の学習への関心が高まったことが分かる。しかし、曲を聴いてもなかなか感想がもてない児童や、語彙の幅が広がらなかったり、音楽の要素と結びつけて考えられなかったりする児童も見られた。また、歌唱についても声の出し方に気をつけている児童が多く、曲想にまだ意識が向いていないことが分かる。

そこで、本題材では、コンサートのパンフレット作りという活動を通して、主題の反復・変化に着目して聴き、「音楽を形作っている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、曲想の変化を感じとる」という鑑賞の目標を達成させ、それを歌唱表現にも生かしていきたい。

(3) 指導観

本題材では、「ふるさと」「交響曲第9番 新世界より 第4楽章」を扱う。2曲とも作曲家自身の故郷を意識して作られた曲である。児童は1学期「運命」「翼をください」の学習を通して、演奏者による表現の違いを聴き、演奏者の思いを考える活動を行った。それをもとに、第1次では、「ふるさと」の歌唱表現を通して歌詞にこめられた思いを理解し、曲の山を意識することで、歌詞の思いが曲に生かされていることに気付き、表情豊かに歌唱表現させたい。第2次では、「交響曲第9番 新世界より 第4楽章」の鑑賞を行う。この曲はソナタ形式で第1主題が反復・変化をしながら演奏されるので、第1主題に着目し、その反復と変化がもたらす曲の表情を感じ取らせたい。11分と長い曲なので 長い曲を漫然と聴くことにならないよう、構成表を示し、それを見ながら聴くことで主題の反復・変化をとらえやすいようにする。そして、第1主題の変化の分かる部分を取り出して、反復と変化のもたらすよさに気付かせ、感想をもたせるようにする。さらに、第2次を通して「パンフレット作り」を設定することで、聴くことに目的をもたせ、自分のお気に入りの部分を見つけて主体的に聴くようにする。

本時の授業においては、3・2・1小節からのコーダを聴き、持ち寄った感想を付箋に書き、話し合いながらコメントを完成させ、感想の共有をすることで、曲のよさに気付かせ、感じ方の幅を広げていきたい。その際、強弱、速度、音の高さ、音色の違いによって旋律の感じがどのように変わるのかに気を付けさせ、根拠をもって感想が書けるようにする。

なお、第1主題については、児童には分かりやすいように「テーマA」という言葉で統一する。また、第一主題の反復・変化をとらえやすい3つの部分を取り上げ、提示部をA1、再現部をA2、コーダをA3とした。

4 指導計画（7時間取り扱い）

次	時	主な学習活動・内容	評価の観点				評価規準(評価方法)
			関	創	技	鑑	
1	1	<p>歌詞の内容を味わい、作者の思いや情景を想像しながら歌おう</p> <p>「ふるさと」を言葉の表現を大切にしながら歌う。</p>	◎				<ul style="list-style-type: none"> 呼吸や発音に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない響きのある歌い方で歌っている。(観察, 歌声の聴取)
	2	<p>「ふるさと」を作者の思いや情景を想像しながら、表現を工夫して歌う。</p>		◎			<ul style="list-style-type: none"> 歌詞や旋律からフレーズをとらえ曲想を生かした表現を工夫してどのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。(ワークシート, 観察)
2	1	<p>楽曲の主旋律や構成に着目して聴き、曲にこめられた思いを感じ取ろう</p> <p>交響曲第9番「新世界より」第4楽章を聴き、第1主題の旋律に着目して聴き、提示部のコメントをまとめる。</p>	◎				<ul style="list-style-type: none"> 第1主題の旋律に関心をもち、進んで聴いている。(観察, ワークシート)
	2	<p>ドボルザークについて調べ、この曲に込めた思いを感じ取り、第2楽章主題の再現される部分のコメントをまとめる。</p>				◎	<ul style="list-style-type: none"> 作曲者について調べたことを手がかりにして、楽曲のよさを味わっている。(付箋, ワークシート)
	3	<p>3 2 1小節からの第1主題の反復や変化を感じ取って聴き、コメントをまとめる。</p>				◎	<ul style="list-style-type: none"> 第1主題の旋律の反復や変化を感じ取って聴いている。(付箋, ワークシート)
	4	<p>楽曲の構成や作曲者の思いを理解して、自分の好きな部分の感想をもち、パンフレットを完成させる。</p>	◎				<ul style="list-style-type: none"> 全体の曲想とその変化などの特徴や音楽を形作っている要素のかかわりあいから感じ取ったことを言葉で表現するなど、味わって聴いている。(付箋, ワークシート)

3	1	曲に込められた思いを感じ取って歌おう			
		「ふるさと」を表現の工夫をしながら歌う。	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> 理解した歌詞の内容や曲の構成にふさわしい表現の仕方で歌っている。 <p style="text-align: right;">(観察, 演奏の聴取)</p>

5 本時の学習

(1) 目標

感じたことを曲のよさを紹介するコメントとして言葉で表現することを通して、第1主題の旋律の反復や変化を感じ取ることができる。

(2) 準備・資料

学習計画表, 交響曲「新世界」CD, A3部分のCD, ワークシート, 構成表, パンフレット用紙, 付箋, 話し合い用紙,

(3) 展開

★研究テーマに係る留意点

過程	形態	学習活動・内容	指導上の留意点と評価
スキル 5分	一斉	1 「テーマA」と「家路」をリコーダーで演奏する。	<ul style="list-style-type: none"> テーマAを演奏することで「新世界より」の気分になれるようにする。また、楽曲を構成している大事なテーマであるので、自分で演奏することでしっかりとテーマをとらえさせるようにする。
つかむ 3分	一斉	2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">A3の反復と変化を聴き取って、クライマックスを感じよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 演奏会のパンフレットを作るという設定で、だれもが聴きたくなるようなよさを見つけ、伝えることを話す。 見通しをもって取り組めるように、活動の手順を説明する。
考える 20分	個別	3 A3を聴く。 (1) 構成表を追いながら、テーマ5の反復と変化に着目して聴く。 (2) A3について感じたことを付箋に書く。 <ul style="list-style-type: none"> 静かに演奏している。 ソロで演奏している。 楽器が増えてくいる だんだん音が大きくなる。 悩みが消えたような感じがする。 自信がある様子が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴くことに集中するために、聴き終わってから感じたことを付箋紙に書かせる。 ★なぜそう感じたかを書くことで、強弱, 速度, 音の高さ, 音色の違いに気付けるようにする。 なかなか言葉が出ない児童には色, 手触り, 気持ち, 風景, 天気などに置き換えて音色を表現するように助言する。
	グループ	4 グループで、話し合い、曲のよさを伝えるコメントにまとめる。 (1) 付箋を話し合いカードに貼る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">(2) 貼った付箋を分類整理し、話し合いながらコメントをまとめる。 【伝え合う】【深める】</div> 〈予想される児童のコメント〉 <ul style="list-style-type: none"> 力強く演奏され、ふるさとを思う強い気持ちが表れています。 前を向いて頑張る気持ちが感じられます。 夜が明けたような感じがします。 光が差してきたような感じがします。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いで感想の書けない児童には、友達の考えを聞くことで「そうだなあ。自分と同じだな。」と思うことも感じ方の一つであることを伝える。 ★同じ考えをまとめ、考えを整理してコメントにまとめるとともに、少数意見にも目を向け、生かしていくようにする。 ★グループ内の付箋を整理し合う中で、自分の感想コメントを見直ししながら話し合うことで、変化した考えや思いを確認させるようにする。 感じ方は様々なので、それぞれの意見を認め受け入れるよう助言する。 迷ったときは、コメントを入れる部分をCDで聴き、確認しながらまとめるよう助言する。

			<ul style="list-style-type: none"> 曲全体の流れを意識させるために、前時のコメントを生かし、ストーリー性をもたせるようにする 話し合いのまとまらない班には、どのように始まり、どう変化したか強弱に着目させ、気分や気持ちの高まりを意識させる。
交流する10分	一斉	(3) できあがったものを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 第1主題の旋律の反復や変化を感じ取って聴いているか。(付箋, ワークシート) 他の班の発表を聞くことでいろいろな感じ方があることを知り、感じ方の幅を広げられるようにする。
まとめ振り返る7分	個別	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>(1) A3のコメントを確かめながら聴き、本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>テーマがいろいろな形で繰り返され、〇〇〇を感じた。 〈「〇〇」予想例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故郷を思う強い気持ち ・陽が昇り、光が差し込む様子 </div> <p>(2) 本時の学習を振り返り、次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分のお気に入りの部分をを見つけ、この曲のよさを味わって聴こう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> コメントを確かめながら聴くとともに、A3を再度味わうことでまとめとしたい。 まとめに戸惑う児童には、まとめ方の基本文型を示し、「〇〇」部分に友達からの意見を書き入れてみるように支援する。 分かりやすくまとめた数名を指名して、その内容を発表させる。 本時のねらいに迫れたかを振り返らせ、よくできたところを賞賛する。 次時では、テーマ以外の内容でもこの曲のよさを見つけて聴くことを知らせ、学習意欲の持続を図りたい。

第6学年1組 音楽科「音楽に思いをこめて」板書構成計画

音楽に思いをこめて

ドボルザーク作曲
交響曲第9番「新世界より」第4楽章

テーマA3の反復と変化を聞き取って、
クライマックスを感じよう

グループごとにまとめたコメント

この部分をコメントを考えよう